

テニス部



☆令和元年5月25日 県総体団体戦 男子 県ベスト8

We love tennis.

努力すれば報われるとは限らない

しかし、努力した分だけ強くなれる そして誰にも負けない試合をしてみせる！！

私達は、限られたコート面数で、部活時間中は部員全員でテニスに取り組み、部活時間以外には、外部のコート等で個人的に練習を積み、団体、個人ともに、常に県ベスト4をめざして日々熱心に取り組んでおります。

<現三年 部長 からのメッセージ>

* 男子部長 山本司

「三度の飯よりテニス」と思っていたほど、常にテニス部のことを考えていました。沢山の人の支えられて何とか最後まで部長としてやり切ることができました。仲間がテニス部で得た一番の財産でした。任せてくれてありがとうございました。

テニスは決して一人では強くなれない。一人でできるのはサーブのみ。上手くなるには、相手が

必要なのです。だからこそ、仲間、対戦相手、審判にはいつも敬意を払っていました。そして、一人でできないのは練習も同じ。だからこそ、チームの雰囲気大事なのです。チーム全員が「一回でも多く勝てるようになりたい」と意気込むことこそが大切です。今の三年生の中には初めは一球もラリーが続かず、苦労したのも沢山いました。そんな昔のことと比べると全員がテニス部で成長できたと思います。これからどんなことがあっても、この水戸一高テニス部の活動での思い出が、自分の支えとなってくれると思います。

後輩へ 努力は決して裏切らない。これだけは言えます。どんなにつらくても、やりつづけること。その先には必ず明るい未来があります。試合中、ラリーが何十回も超えることがあります。そんな時、その一球を簡単に投げ出してはいけません。つらくても辛くても最後までボールを追うことに意義がある。そうすれば、たとえ相手に決められてしまったとしても、次は取られるのでは？と、相手にプレッシャーを与えることができます。練習は試合に勝つためにやるもの。勝つためには練習をするものなのです。どんな練習もどんな一球も、意識一つで全てが変わる。常に、質を意識して練習しよう。そんな形で練習して挑めば、先にあるのは勝利の二文字だけ。だから、頑張れ！

しかし、それでも負けるときはある。だが、本当に大切なのは勝ったときではない。負けた後どうするか、だろう。その反省を生かして練習すれば、きっと良いプレーが出来るようになると思う。僕達は、最後は負けた。しかし、誰もが笑顔で終わることができた。最後に笑えるかどうかはそれまでの努力次第。僕達が勝ち得なかった県ベスト4をめざして頑張ってください！

0.B.の皆さまへ 先輩方のお蔭でとても良い環境で練習が出来ております。ありがとうございます。これからも、伝統を大切に、練習に励んでいこうと思います。

中学生のみなさんへ 硬式テニス部は、テニスの練習はもちろんのこと、勉強にも励み、部活と勉強の両立ができる部活です。先輩方は、毎年、東京大学を中心とした、難関大学へ進学しています。テニスも勉強も両方頑張りたい、そんな方は是非水戸一高硬式テニス部に入部してください。テニスコートで待っています！！

* 女子部長 服部宇楽

5月が終わり、3年生は引退の時期を迎えました。振り返ると、試合を重ねるごとに結果を残せるようになり、練習に対する意識も格段に向上しました。

関東予選において団体戦は、順調に決勝戦まで駒を進め、準優勝。個人戦は、各々が自分の持っている最大限の力を発揮し、納得のいく結果を得ることができたと思います。しかし、県団体戦は不完全燃焼で、悔しい思いをしました。この悔しさを胸に、部員全員でどうすればいいかを考え、日々の練習により一層励みました。

そして迎えた総体。県大会出場をかけた戦いは非常に厳しいものでしたが、それぞれの持ち味を發揮し、見事勝利を飾ることができました。今大会の団体メンバーはもちろん、応援ししてくれた1・2年生全員で勝ち取った準優勝だったので、本当に嬉しかったです。県大会は接戦の末、負けてしまいましたが、やりきれたので思い残すことはありません。ここまで来れたのは、高めあえる仲間がいたからだと思います。お互いにいい刺激を受け、アドバイスし合える雰囲気は高配達にも受け継いで欲しいです。また、私たちが果たすことができなかった地区大会優勝という目標を達成してもらいたいです。

最後になりますが、今まで支えてくださった先生方、保護者の皆様、OB・OGの皆様の支援ありがとうございました。

○活動メンバー

| | 男子 | 女子 |
|-----|-------|-------|
| 3年生 | 20名 | 3名 |
| 2年生 | 10名 | 10名 |
| 1年生 | 15名 | 6名 |
| | 計 45名 | 計 19名 |

○活動場所・活動日

体育館わき オムニコート 1面 薬医門わき クレーコート1面

*計2面を男女交代で使用

平日・・・毎日 休日・・・半日練

*朝練や昼練は自由参加

○年間予定

4月 関東予選水戸地区大会（シングルス・ダブルス・団体戦）

5月 関東予選県大会（シングルス・ダブルス・団体戦）

総体予選水戸地区大会（団体戦）

6月 総体予選県大会（シングルス・ダブルス・団体戦）

7月 公立高校大会

8月 夏季大会 地区&県大会（シングルス）

夏合宿



9月 新人戦 地区&県大会（シングルス・ダブルス）
10月 新人戦 県大会（団体戦）
12月 冬合宿



2月 春季大会 水戸地区大会（シングルス）
*その他、各種大会にエントリー

○大会実績・講評等

☆令和元年度 総体予選県大会@神栖

男子団体…ベスト8（水戸地区唯一の県ベスト8！！）



一回戦 VS 藤代

D 川島 泰成 ・ 元部 太陽 6-2 ○

S1 笠原 拓真 6-1 ○

S2 山本 司 1-2

二回戦 VS 茨城

D 川島 泰成 ・ 武智 雄大 6-3 ○

S1 笠原 拓真 4-6 ×

S2 山本 司 6-2 ○

準々決勝 VS 常総

D 川島 泰成 ・ 武智 雄大 1-6 ×

S1 笠原 拓真 6-2 ○

S3 山本 司 3-6 ×



*** 女子団体…一回戦敗退 VS 藤代**

D 飯塚 結万 ・ 鈴木 希望 6-7 ×

S1 服部 宇楽 6-6

S2 大竹 奈々美 5-7 ×



*男子ダブルス…ベスト32

笠原 拓真 ・ 川島 泰成 5-7 智学館

*女子ダブルス…ベスト32

服部 宇楽 ・ 大竹 奈々美 3-6 茨城キリスト

<講評>

女子は、関東予選一回戦で負けてしまった反省を生かして、今大会に臨みました。全ての試合が素晴らしい試合で、どちらが勝ってもおかしくない状況でした。一時的に、こちらがリードしていた部分もありましたが、惜しくも敗れてしまいました。

男子は、関東予選県大会、そして総体予選水戸地区大会では思うような結果が出せず、悔しい思いをしました。今回はその雪辱を果たすためにベスト8は必ず、目標はベスト4!と、練習に取り組みました。

一回戦対藤代戦。こちらは、二面展開で行われました。D, S1 共に出場した選手は始めこそ、緊張により、練習の成果を上手く発揮できませんでしたが、試合が進むごとにいつものペースをつかむことができ、完勝することができました。

二回戦対茨城高校戦。こちらも二面展開で行われました。同地区対決ということで、お互いのテニス、戦略を知り尽くしての対決となりました。Dは、県出場ペアに圧巻のプレーを見せつけ、デュース等、重要なポイントを要所良く取っていくことで、見事完勝し、チームに勢いをつけました。一方、S1 は両チームのエース対決となりました。水戸一の方も良いプレーも沢山ありましたが、相手が勢いに乗っていたのか、キープ合戦の末、競り負けました。しかし、エースの終盤の諦めない気持ちは部員全員に伝わりました。そんな中、S2 の試合が始まりましたが、初めの方は茨城高校に押されていました。しかし、ベンチコーチ、試合を終えた団体メンバー、顧問の先生、応援のためだけにわざわざ来てくれた部員、惜しくも敗れた女子、更にはメンバーの家族というたくさんの応援により、重圧を押しつけて、見事に勝って、ベスト8に入ることができました。いつも見守ってくださった、顧問の先生は、試合が終わると、泣いてくださっていて、何より嬉しかった

です。この試合は今まで以上にチームが一丸になれた気がしました。いつも、団体戦はエースに頼りきりでしたが、水戸一はエース独りだけじゃないぞ！という所を見せつけられた気がします。

準々決勝対常総学園戦。こちらは、初めは二面で行い、途中から三面展開と言う形で行われました。Dは、相手のエースを入れられてきたので、かなり厳しい試合となりましたが、最後まであきらめずに戦う姿勢には、こころ打たれました。S1は、まさにエースの役割をしっかりと果たしてくれました。スコア以上にタフな試合でしたが、応援の力もあり、素晴らしい試合でした。S2は、自分のプレーをこなすことができたので、良いプレーも沢山ありました。D、S1の試合が終わり、ベスト4は部長S2に託されることとなりました。今回の試合では、部員一同以外にも、同じ水戸地区の桜の牧高校と佐和高校の方々にも応援をいただき、素晴らしい環境で試合をすることができました。結果、熱戦の末に負けてしまったのには悔いが残りましたが、最も、ベスト4争いの激しかった団体戦となったと思います。負けてしまっても、感動してくれた部員もいました。悲願のベスト4進出とはなりませんでしたが、後輩にその目標は達成できるように頑張ってもらいたいです。

今大会は、応援に支えられた部分が沢山ありました。今一度、応援して下さった皆様、ありがとうございました。(山本司)

☆令和元年度 総体予選水戸地区大会@笠松



男子団体… 3位



一回戦 VS 茨城高専 2-0

D 川島 泰成 ・ 武智 雄大 6-3 ○

S1 笠原 拓真 6-0 ○

S2 山本 司 2-2

二回戦 VS 水戸工業 2-0

D 川島 泰成 ・ 元部 太陽 6-2 ○

S1 笠原 拓真 6-2 ○

S2 山本 司 5-0

準決勝 VS 桜ノ牧 1-2

D 元部 太陽 ・ 武智 雄大 6-7 ×

S1 笠原 拓真 6-4 ○

S2 川島 泰成 2-6 ×

三位決定戦 VS 水戸商業 2-0

D 川島 泰成 ・ 元部 太陽 6-3 ○

S1 笠原 拓真 6-1 ○

S2 山本 司 2-3

<講評>

第一シードとして、望んだ今大会、絶対に優勝する！！という目標の下、試合に取り組みました。一回戦、二回戦はチーム全体で良い試合ができました。その後臨んだ準決勝、相手は桜ノ牧高校。桜ノ牧はとても応援が熱心な学校でしたので、「応援では負けるな！」と一丸となって試合に取り組みました。応援のお蔭もあり、S1 は接戦を制して、エース笠原が勝ちました。続いて、S2、こちらは相手のプレーと応援に圧倒され、惜しくも川島が破れました。最後に残ったのは、ダブルスでした。こちらの試合は両者、両チームが全ての力を出し切りました。応援も他の二試合よりも力

のに入った応援をいただきました。しかし、それでもあと一步届きませんでした。結果は6-7とタイブレークまでもつれました。結果負けてしまいました。次につながる良い試合をしてくれた武智と元部には感謝しかありません。

悔しい敗戦の後、三位決定戦が行われました。まず、S1。こちらはエース笠原が圧巻のプレーを見せつけてくれました。圧倒的なプレーで一勝を水戸一高に届けてくれました。次に、D。こちらは先程の試合で惜しくも敗れた川島と元部が見事接戦を制しました。悔しい敗戦の中、決して負けを引きずらないで、良いプレーを見せつけてくれました。

今大会は、三位と悔しい結果となりました。悔しさから涙を流す部員もいました。この涙が決して無駄にならないように県大会では良い試合が出来るようにリスタートしたいと思います。また、今大会では、部員のみならず、OBの先輩方、沢山の保護者の方々からも熱い声援をいただきました。ありがとうございました。(山本司)

女子団体…準優勝



一回戦 VS 大成女子 2-0

D 鈴木 希望 ・ 飯塚 結万 1-3

S1 服部 宇楽 6-0 ○

S2 大竹 奈々美 6-0 ○

二回戦 VS 茨城高校 2-1

D 飯塚 結万 ・ 大竹 奈々美 6-1 ○

S1 服部 宇楽 7-5 ○

S2 鈴木 希望 0-6 ×

準決勝 VS 清真学園 2-1

D 大竹 奈々美 ・ 飯塚 結万 6-1 ○

S1 服部 宇楽 7-5 ○

S2 鈴木 希望 0-6 ×

決勝 VS 桜ノ牧 0-2

D 服部 宇楽 ・ 飯塚 結万 4-6 ×

S1 鈴木 希望 2-6 ×

S2 大竹 奈々美 5-2

☆平成31年度 関東予選県大会@神栖

男子団体…ベスト16

一回戦 VS 水海道一 2-0

D 川島 泰成 ・ 元部 太陽 6-1 ○

S1 笠原 拓真 6-1 ○

S2 山本 司 3-0

二回戦 VS 竹園 0-2

D 川島 泰成 ・ 元部 太陽 3-6 ×

S1 笠原 拓真 3-6 ×

S2 山本 司 3-0

*女子団体…一回戦敗退

*男子シングルス…ベスト64

笠原 拓真 0-6 東洋大学付属

第一シード相手に健闘しました。負けたものの、良いラリーもあり、素晴らしい試合を繰り広げてくれました。

山本 司 0-6 霞ヶ浦

***男子ダブルス…ベスト32**

笠原 拓真 ・ 川島 泰成 2-6 茗溪学園

***女子シングルス…ベスト64**

女子ダブルス…ベスト16

<講評>

県新人戦がベスト8だったため、推薦で進めた県大会、ベスト8を目指して挑みました。初戦は水海道一高。二面展開で行われました。まず、S1、エース笠原は危なげなく勝利を届けてくれました。こちらに流れを呼ぶ良い試合でした。次に、D。こちらは接戦となりました。相手もかなり良いプレーをしていましたが、元部がストロークで粘り、川島が最後にボレーで決めるという流れができていました。

この勢いのまま、次の竹園戦に臨みました。水海道一高戦で皆良い試合が出来ていたので、そのままオーダーを変えずに挑みました。まずはD。こちらは厳しい試合となりました。プレーは悪くはありませんでしたが、相手の粘り強さと風への対応で惜しくも敗れました。続いて、S1。こちらはエース対決となりました。しかし、自身の体調の悪さもあり、悔しくも負けてしまいました。

今大会は団体戦エースに頼りすぎたことを感じました。エース笠原以外もしっかりと勝てるように総体に臨みたいですね。

男女ともに良い試合ができたと思います。特に女子のダブルスは接戦を制し、見事ベスト16に入りました。残すは総体。三年は負けても笑顔で合言葉に頑張っていこうと思います。(山本司)

☆平成31年度 関東予選水戸地区大会@笠松

女子団体…準優勝→県出場！！

*女子シングルス

服部 宇楽 **ベスト4→県出場！！**

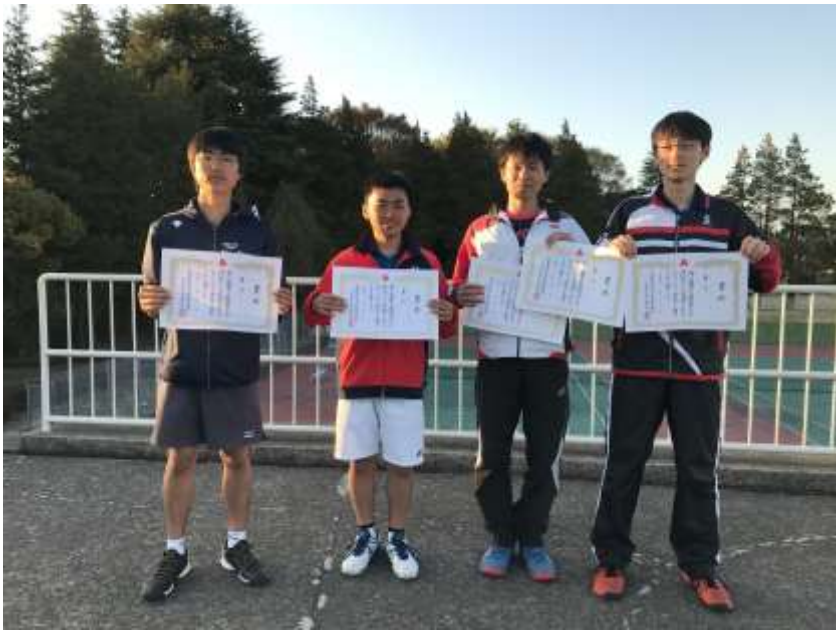
大竹 奈々美、飯塚 結万**ベスト32**

*女子ダブルス

服部 宇楽・大竹 奈々美 **ベスト8**

鈴木 希望・飯塚 結万、木村 美月・小松崎 双葉**ベスト32**

男子団体…推薦優勝→県出場！！



* 男子シングルス

笠原 拓真 優勝→県出場

山本 司 ベスト 16→県出場

川島 泰成、橋本 拓哉 ベスト 32

寺門 央佑、萩野谷 泰斗 ベスト 64

* 男子ダブルス

笠原 拓真・川島 泰成 準優勝→県出場

豊田 裕生・山本 司 10位

元部 太陽・武智 雄大 ベスト 32

<講評>

春季大会では、男女ともに素晴らしい試合が出来たので、その勢いのまま試合に臨みました。男子は、笠原が圧巻のプレーでシングルの優勝を勝ち取りました。川島、橋本もあと一步で県というところまで来ましたが、惜しくも敗れました。二人とも良い試合を行ってくれました。ダブルスに関しては、笠原・川島が新人戦優勝ペアの意地で準優勝まで駆け抜けました。優勝こそ逃したものの、良い試合だったと思います。豊田・山本、元部・武智は共に県出場ペアに惜敗しました。お互い良い試合をしていましたが、あと一步届きませんでした。しかし、両ペアの持ち味が発揮された

良い試合をしてくれました。(山本司)

☆練習試合 VS 土浦一高、桜ノ牧、水戸商業



春休み、沢山の学校と練習試合を行いました。冬休みにも行いましたが、今回は様々な学校と戦いました。もうすぐ、大会がやってきます。三年にとっては最後の大会。悔いの残らぬよう練習に取り組もうと思います。(山本司)

☆平成30年度 水戸地区春季大会@笠松

*男子シングルス

笠原 拓真 3位

山本 司、川島 泰成 ベスト16

豊田 裕生 、 萩野谷 泰斗 、武智 雄大 ベスト32

河原 信、鈴木 裕太、元部 太陽、金子 瑞生、寺門 央佑

ベスト64



* 女子シングルス

服部 宇楽 2位

大竹 奈々美 ベスト4

鈴木 香 ベスト8



<講評>

三年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。

いよいよ現二年は三年生になり、引退の時期が近づいてきました。2月実施の春季大会では男女ともに良い成績を残すことができました。男子は、部員全員が各々一試合でも多く勝てるようにと、練習に励んでいた成果を発揮することができました。特に今までベスト32に一度も入っていなかった選手が3人も新たに入れたのは素晴らしかったと思います。女子はベスト8に三人と地区内一

の結果を残せました。今大会は水戸一高としてはとても良い大会となりましたが、本当に勝ちたいのは次の関東予選です。今大会の結果に満足せず、まずは関東予選で一人でも多くの方が県大会に勝ち残れるように春休みの練習に取り組んでいこうと思います。また、今大会で最後のシングルスとなってしまった部員もいます。シングルスに出場する者は出られないもの分まで悔いの残らぬように精一杯頑張ろうと思います。(2019年3月11日 山本司)

☆冬合宿@扶桑テニスクラブ+練習試合 VS 竹園高校@竹園高校



2018年が終わりに、2年生は引退まで残すところ4,5カ月となってしまいました。今年は、例年行っていない冬合宿を行うことで新たな課題を各自見つけることに成功したと思います。テニスの心技体をしっかりと鍛え、今後の練習に活かせる合宿になったと思います。心、すなわちメンタル面では、ミーティングでお互いのメンタルの弱点となる部分をぶつけて、皆で解決策を話し合いました。この効果のお蔭か、合宿直後の練習試合では、競った試合で勝ち切ることができた人が多かったように感じました。技、すなわちテニスのスキルアップについては日頃の練習ではあまり行っていない練習等、基本からしっかりと確認しました。体、すなわち体カトレーニングについては一朝一夕に何とかなるものではありませんが、この合宿をきっかけとして、体力を少しでもつけられるように励みました。次の大会は2月の春季大会。今後の練習をしっかりと取り組んで各自が目標を達成できるように頑張ろうと思います。(2018年12月28日 山本司)

☆第30回 ひたちなか市ジュニアテニス選手権

男子シングルス 山本 司 準優勝

女子シングルス 服部 宇楽 準優勝

<講評>

12月に入り、テニスもオフシーズンになり、プロの大会とともに高体連の大会も2月まであり

ません。今回は高体連の大会ではありませんが、一高から5名、ひたちなか市テニス協会の大会に参加しました。今回は水戸地区の人だけでなく、県北地区の人とも戦うことができました。いつも戦う人だけでなく、違った人とも試合をして違った感覚を得られました。男子では、昨年の部長が同大会で準優勝を飾っており、今年もこの文章を書いている本人ですが、部長が準優勝を飾ることができました。来年、後輩には頑張って優勝してもらいたいと思います。決勝戦までは陰しい道のりでしたが、あと一歩の所で負けてしまったので、次試合することがあれば、リベンジ出来るように練習に励みたいと思います。また、女子の方も準優勝でした。こちらは、男子の方とは対極的で、決勝戦までは取られたゲーム数もわずか3ゲームと、圧倒的な強さを見せつけての準優勝となりました。決勝戦の相手はかなり強い相手だったと思いますが、今度試合で当たったときには、勝てるように練習に励んでもらいたいです。今回の大会では、男女ともに良い成績を残せたと思います。次は、高体連の大会の春季大会で良い成績が残せるように、男女ともに練習に取り組んでいこうと思います。(2018年12月4日 山本司)

☆平成30年度 茨城県新人体育大会@神栖

男子団体 5位…**県立高校唯一のベスト8進出!**

一回戦 VS 佐竹 3-0

S1 笠原 拓真 6-2 ○

D1 吉岡 晋作 ・ 橋本 拓哉 6-2 ○

S2 川島 泰成 6-1 ○

D2 元部 太陽 3-0

S3 山本 司 2-1

二回戦 VS 水戸工業 3-0

S1 笠原 拓真 6-0 ○

D1 吉岡 晋作 ・ 小澤 慎之介 6-1 ○

S2 川島 泰成 6-2 ○

D2 豊田 裕生 ・ 元部 太陽 2-1

S3 山本 司 3-0

三回戦 VS 竜ヶ崎一高 3-2

S1 笠原 拓真 6-3 ○

D1 川島 泰成 ・ 武智 雄大 6-0 ○

S2 橋本 拓哉 1-6 ×

D2 元部 太陽 ・ 小澤 慎之佑 6-3 ○

S3 山本 司 1-6 ×

準決勝 VS 霞ヶ浦

S1 笠原 拓真 1 - 4

D1 川島 泰成・武智 雄大 1 - 6 ×

S2 豊田 裕生 0 - 6 ×

D2 吉岡 晋作・橋本 拓哉 1 - 4

S3 山本 司 0 - 6 ×

*** 女子団体…一回戦敗退**

一回戦 VS 水戸三 2 - 3

S1 服部 宇楽 7 - 5 ○

D1 大竹 奈々美・鈴木 希望 1 - 6 ×

S2 鈴木 香 3 - 6 ×

D2 飯塚 結万・木村 美月 6 - 3 ○

S3 小松崎 双葉 1 - 6 ×



*男子シングルス

笠原 拓真 ベスト3 2

川島 泰成 ベスト6 4

*男子ダブルス 笠原 拓真・川島 泰成 ベスト1 6

女子団体 1回戦敗退

*女子シングルス 服部 宇楽 ベスト3 2

<講評>

新人戦が終わり、大きな大会は来年の総体を残すところとなりました。ここで、新人戦の結果を振り返ってみると、県新人団体戦では、3回戦の竜ヶ崎一高との試合では、苦戦を強いられながらも最後まで粘り、勝利をつかみ取ることができました。準々決勝の霞ヶ浦高校（前年度優勝校）との試合は、完敗でしたが、自分に何が足りなかったのか、相手の何が優れていたのか、一人一人が実感し、次の勝利につながる戦いとなりました。県新人戦団体では、水戸一高としては、約10年ぶりのベスト8となりました。これから、更なる飛躍を目指し、日々練習に励み、精進してまいります。（2018年11月 山本司）

☆平成30年度 水戸地区新人体育大会@笠松

*男子シングルス

笠原 拓真 1位…**県大会出場**

川島 泰成 9位…**県大会出場**

山本 司 ベスト3 2

河原 信、武智 雄大、金子 瑞生、橋本 拓哉、元部 太陽、吉岡 晋作 ベスト6 4

*男子ダブルス

笠原 拓真・川島 泰成 1位…**県大会出場**

吉岡 晋作・橋本 拓哉 1 1位

山本 司・河原 信、金子 瑞生・渡部 仁、萩野谷 泰斗・石井 健太 ベスト3 2

*女子シングルス

服部 宇楽 9位…**県大会出場**

鈴木 香 ベスト3 2

*女子ダブルス

服部 宇楽・大竹 奈々美 ベスト3 2

<講評>

個人戦地区大会では、夏の練習の成果をしっかりと発揮し、見事初のダブル優勝（シングルス、ダブルス優勝）を飾りました。一方で、逆転負けを許した者、もう一步で県大会への切符を逃した者、全く歯が立たずに負けた者もいて、悔しい結果にもなりました。しかし、精一杯戦い、次につながる敗戦であったと思います（山本司）

☆平成30年度 茨城県少年少女テニス大会@笠松

* 男子シングルス

笠原 拓真 ベスト16

川島 泰成 ベスト32

山本 司 ベスト64

<講評>

3年生の先輩方が引退してから、早くも2、3ヵ月が経ち、気が付けば、毎日テニス三昧であった夏休みもあっという間に終わってしまいました。夏合宿では、今までの大会で浮き彫りになった弱点を克服したり、積極的にプレーをしたりする等、自分の目標を持ってテニスの技術を向上させることができました。さらに、今年初出場であった関東公立高校大会では、団体戦であったこともあり、技術のみならず、大事な場面でミスをせず、ポイントしていくメンタルや、チームメイトへの応援を通して、チームの団結力も高まったと思います。新人戦では、シングルス、ダブルス、団体、共に全力を尽くして、目標を達成できるようにこれからも練習に励んでいこうと思います。（2018年9月 山本司）

☆関東公立高校大会@千葉県白子町

<講評>

水戸一高歴代でも初と思われる大会に参加してきました。合宿の翌日から始まるなど、中々ハードなスケジュールでした。公立高校の大会とはいえ、県と関東の違いを思い知らされた二日間でした。結果は15位でしたが、県外の学校と沢山試合をしたことで、多くの経験を得られました。この経験を生かして、新人戦では一つでも多く勝てるように頑張ろうと思います。（山本司）



☆ 夏合宿 @ 扶桑テニスコート



毎年恒例の夏合宿を今年も行いました。二泊三日のテニス三昧の日々を過ごしました。初日が台風に見舞われたため、初日は午後から練習を行いました。テニスの技術だけでなく、チームの雰囲気を作ることでできた三日間でした。(山本司)

☆平成 30 年度水戸地区夏季テニス大会



* 男子シングルス

笠原 拓真 準優勝 . . . **県大会出場**

山本 司 7位 . . . **県大会出場**

川島 泰成 17位 . . . **県大会出場**

河原 信 ベスト32

橋本 拓哉 ベスト64

*女子シングルス

大竹 奈々美 ベスト32

<講評>

一年生としては初めて、二年生としては自分たちの代となつてからの初めての個人戦ということになりました。一年生は、初めてのため、審判に苦戦する者もいましたが、良い経験となったと思います。二年生は、各々が課題を見受けられた試合となりました。今後の夏休みで課題を潰していきたいと思います。(山本司)

☆平成30年度 茨城県公立高校テニス選手権大会

男子団体戦 準優勝・ ・ ・ 関東大会出場

一回戦 VS 佐和 B 3-0

S 笠原 拓真 6-0

D1 武智 雄大・川島 泰成 6-1

D2 山本 司・小澤 慎之佑 6-1

二回戦 VS 県北選抜 2-1

S 笠原 拓真 6-0

D1 武智 雄大・川島 泰成 6-3

D2 元部 太陽・豊田 裕生 2-6

準決勝 VS 竹園 B 3-0

S 山本 司 6-4

D1 武智 雄大・川島 泰成 6-1

D2 笠原 拓真・小澤 慎之佑 7-6

決勝 VS 竹園 1-2

S 笠原 拓真 6-1

D1 武智 雄大・川島 泰成 4-6

D2 元部 太陽・豊田 裕生 1-6



<講評>

今年初参加の茨城県公立高校大会に出場しました。新チーム発足してから初の団体戦だったため、しばし緊張しました。最初の挨拶の仕方から、円陣のやり方から何から何まで初めてでした。そんなチームでしたが、皆の息が合い、見事準優勝できました。関東大会も頑張りたいです。(山本司)

☆平成 30 年度 関東予選水戸地区大会

男子団体 5 位・・・**県大会出場**

男子シングルス 4 位、8 位

男子ダブルス 4 位・・・**県大会出場**

☆平成 30 年度 総体予選県大会

男子ダブルス 出場